

第1回 岡山市バリアフリー推進協議会 議事録

【日 時】令和2年8月20日（木）14:00～

【場 所】岡山市勤労者福祉センター 5階 体育集会室

■主な意見と回答

① 岡山市バリアフリー基本計画の策定について

意見	回答
公共施設からバリアフリー化を進めてほしい。	公共施設を生活関連施設に位置付け、バリアフリー化の推進を図っていく。
なぜこの5地区を移動等円滑化促進地区としたのか。また各地区の公共交通のバリアフリー化を進めるべきと考える。	本市の都心・都市拠点であり、人の発生集中が多い5地区を移動等円滑化促進地区として設定した。また、旅客施設や旅客施設等をつなぐ経路などのバリアフリー化の推進を図っていく。
「移動等円滑化」と「バリアフリー」という言葉が混在して使用されているが、同義語と思われる。一般市民に分かるように言葉を使った方がよい。	言葉を統一するなど市民にわかりやすいものとなるよう努める。
バリアフリー化の目標として、どのレベルを目指すのか。例えば、障害者が介助なしで外出できるレベルにするのか。もしくは介助があれば外出できるようにするのか。	1人で安全・快適に移動や施設利用ができるような環境整備が必要と考えているが、障害の重度などによっては、介助等も必要と考える。具体については今後検討する。

② 岡山駅周辺まち歩き点検ワークショップについて

意見	回答
まち歩きワークショップは障害者自身が参加するのか。	岡山市障害者団体連合会の協力を得ながら、障害者に参加いただく予定である。
まち歩きワークショップの参加者に「子育て世代」とあるが、子供に参加してもらうのか。	ベビーカーを利用する親の参加を想定している。
まち歩きワークショップの障害者の「その他」とはどのような人を指すのか。知的障害者などは検討しないのか。	「その他」については、今後岡山市障害者団体連合会に相談させていただき、決定したいと考えている。
実際にまちを歩くワークショップの実施は、特別なことなのか。	施設整備にあたってのバリアフリー化については、設計支援委員会の意見を聞いて進めているが、既存の施設のバリアフリー化の状況について、今回実施する「まち歩き点検ワークショップ」で確認するというのはまれなケースと考えている。

